

## ◆車検

午前中は昨日に引き続き技術検査が行われ、また残りの3項目(騒音・ブレーキ・チルト)の検査が8:30から開始されました。

騒音は所定の条件下で110dB以下であること、ブレーキは急制動での4輪ロック、チルトは45°、60°と傾けられ、燃料漏れの有無、転覆しないかどうかを確認されます。

60°のチルトテストは傍から見てみると垂直に近く、例年、「これが一番怖い」という声が聞かれるほど。どのチームも無事パスしていました。

車検の全ての項目をパスしたチームは午前終了時点で上智、大阪、ホンダテクニカルカレッジ関西の3チームです。



## ◆デザイン

3項目ある静的審査のうち、設計を審査するのがデザイン審査。各チームが事前の期限までに提出したレポートと実物の車両をもとに、各チームの工夫や採用した技術の妥当性を口頭試問で評価します。

静的審査は所定のタイムスケジュールにそって進められており、午前終了時点で18チームがデザイン審査を終えました。

## ◆コスト

コスト審査も静的審査の項目の一つ。車両の製造コストはUSD25,000以下とレギュレーションに定められていて、各チームは常に予算とコストを念頭に置いて車両を制作する姿勢が求められます。審査では、事前提出のレポートと実車を照らし合わせながらコスト精度を検証するほか、一般的に購入品目となる部品2つについて製造工程を問い、知識や理解度を評価します。

コスト審査も所定のタイムスケジュールにそって進められており、午前終了時点で30チームが審査を終えました。

## 【トピックス】チームウェアに注目!

年々、独自のチームウェアを採用するチームが増えてきています。カッコいいピットシャツ風のウェアもあれば、実用的なつなぎもあり、また、扱いの楽なポロシャツやTシャツを採用しているチームもあります。チームカラー、スポンサーなど、チームの情報やアイデンティティが詰まったチームウェア、皆さんもぜひ注目してみてください! 他の写真も別途アップしますのでお楽しみに!

